

学校での感染対策について

登校後、手洗いをしてから教室に入る。

教室にウイルスを持ち込まない。荷物が多い場合は廊下に置いてから洗う。

体温チェックを忘れた人はすぐに保健室で測る。

担任による
毎日の健康観察

健康観察板回収時に
養護教諭に報告

授業

- ・常に換気を行う。
- ・間隔をあけて前向きに座る。

休み時間

- ・積極的に体を動かす。
- ・友達と接触する遊びはしない。

授業（上と同様）

給食

- ・前を向いて静かに食べる。
- ・体調不良者は当番を代わる。

掃除

- ・マスクは外さない。
- ・トイレ掃除は手袋を必ず使う。

授業（上と同様）

下校（健康観察）

＜健康観察の観点＞

- ・37.0℃以上の熱（チェックカード）
- ・連続した激しい咳、かぜ症状がある。
- ・だるい、息が苦しい。
- ・いつもと様子が違う。
- ・胸痛がある。

疑いあり

管理職と相談後判断
基本的には早退

保健室の体調不良者
ゾーンで迎えを待つ

常時、健康観察を行う。
（体調不良者は保健室へ）

- ・給食当番、その他の児童の健康観察を行う。
- ・給食当番はエプロン、マスクをする。
- ・配膳台の消毒を担当が行う。
- ・手指消毒は全員が行う。
- ・用便、手洗い、（更衣）、消毒の順で行う。
- ・通常のハンカチと給食前用のハンカチを別で持ってくる。

保健室の対策

- ① けが人、体調不良者の入口を分け、体調不良者が他の児童と接触することを避ける。
- ② 体調不良者が退室した後に、ソファや机の消毒を養護教諭が行う。
- ③ 体調がすぐれない児童は、すぐに早退の判断をし、ベッドでは休まない。

下校後に職員で消毒作業

① 保護者の方にお願ひしたいこと

- ・毎朝検温と体調チェックを行い、体温チェックカードに記入する（かぜ症状のある時は欠席し、家で様子をみる）。
- ・同居している家族に発熱やかぜ症状がみられる場合は登校しないようにする。
- ・マスクは家からしてくる。予備を数枚、ランドセルに入れておく。

② 体温チェックカードについて

- ・体温を測り忘れた児童は、教室に行く前に保健室に立ち寄り、体温を測る。
37.0以上、かぜ症状ありの児童はすぐに早退させる。（チェックカードにそのような記載があった場合も同様。）
- ・連絡帳の裏表紙の裏にチェックカードをはり、毎日提出する。担任は必ず目を通す。
- ・記入忘れが続いた場合は、保護者の方に連絡をする。

③ 休み時間の過ごし方

- ・友達との接触はしない。
- ・なわとびのなわは、友達と貸し借りをしない。
ボールなどを共有する場合は、使用前後の手洗いを徹底する。
- ・間隔を十分にあげて外で遊ぶ場合は、マスクを外してもよい。げたばこに戻ったらすぐにマスクをする。
- ・教室で過ごす場合には、マスクは外さない。一つの机に数人が集まるのは避ける。
- ・マスクをしていても、1メートル以内で大きな声で会話するのは避ける。
- ・長放課の後には、過ごし方にかかわらず、全員が手洗いをを行う。

④ 各教科の実技指導について

- ・身体接触を伴う活動、密集する運動などは行わない。
- ・実験、調理実習、共同制作など近くで向き合って会話をするような活動は行わない。（音楽も同様）
- ・共用の教材、教具、情報機器を使用する場合は、使用後に消毒を行う。使用の前後に手洗いを徹底する。
- ・外の活動から戻った際は、手洗いをを行う。



※同じものが老津小学校のホームページにも載っています。
このプリントの内容について、保護者の方からも、お子さんに話をしあけてください。